



南側外観



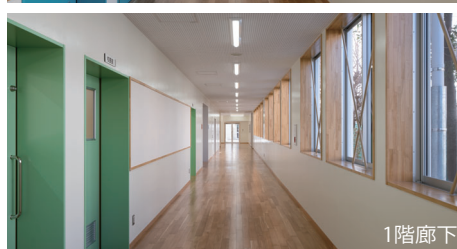
昇降口



2階廊下



2階普通教室



1階廊下

DATA

敷地面積	7411.97㎡
建築面積	989.76㎡(増築) 2,108.25㎡(既存)
延床面積	1,793.96㎡(増築) 6,767.56㎡(既存)
建ぺい率	41.79%
容積率	115.28%
構造・規模	S造 地上2階
最高高さ	8.243m
軒高	7.383m
階高	1階3.43m、 2階3.50m
天井高さ	2.7m
主なスパン	1.8m×1.8m

CONCEPT

将来を見据えた校舎増築と施設整備

本施設は、大田区の児童急増と建物老朽化への対応として、既存校舎に隣接して増築された小学校です。

増築校舎の配置は、既存校舎との動線や校庭の広さを最大限に確保できるようにL型形状とし、両棟の昇降口は渡り廊下によりスムーズなアクセスを確保しています。また、既存校舎の昇降口にはスロープを設け、段差のない仕様へと改修することにより、車いすの通行や給食の配膳が両棟で行えるように計画しました。

耐久性に優れたGRCの外壁

建物の外壁には、軽量でありながら高い強度と耐火性を備えたGRC（ガラス繊維強化セメント）を採用し、優れた耐久性を実現しています。

木材を利用した温かみのある内装

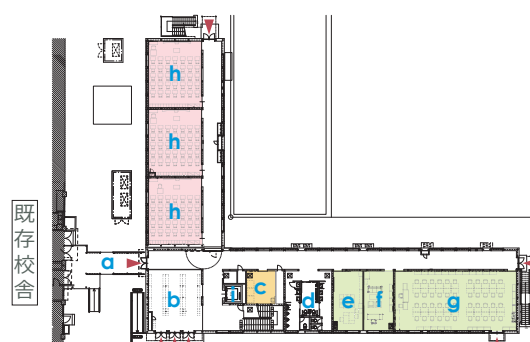
品質を重要視した外装の一方で、内装には木のフローリングや木製の額縁を取り入れ温かみのある仕上げにしました。木材の質感が自然なぬくもりを感じさせ、児童たちが心穏やかに学習に臨める環境を作り出しました。

TOPICS

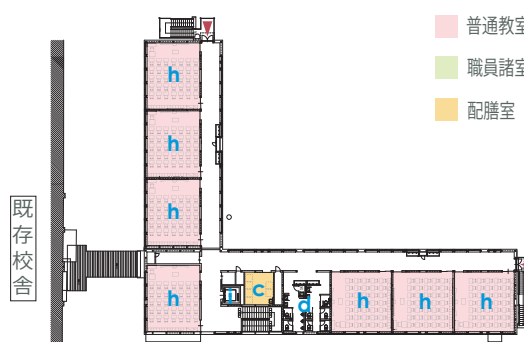
軽量鉄骨を活用した20年利用の学校

一時的な学級数の増加に対応し、将来予定されている本校舎の改築計画も見据える中で、コストの抑制が求められました。教育活動への影響を最小限に抑えるため、効率的かつ実用的な建築手法の導入が検討されました。そこで、低コストでありながら必要な耐久性と機能性を備えた軽量鉄骨構造のシステム建築が採用されました。短工期での施工が可能なおうえ、将来的な施設計画の変更にも柔軟に対応できる点が採用の決め手となりました。

PLAN



1F PLAN S=1:1000



2F PLAN S=1:1000

- 普通教室
- 職員諸室
- 配膳室
- a. 渡り廊下
- b. 昇降口
- c. 配膳室
- d. W.C
- e. 事務室
- f. 校長室
- g. 教員室
- h. 普通教室
- i. エレベーター
- ▶ 出入口



▶ <http://www.nissoken.co.jp>